

試験日	2025 年 9 月 13 日 (土)
入試種別	大学院入学試験(4 月入学)修士課程 秋期試験 一般入試
学部・研究科	法学研究科
科目名	刑法
解答例又は採点時の評価ポイント	
採点の評価ポイント) 設問 1 は、刑法の基礎理論である刑罰の正当化根拠についての基本的知識を問うものであり、とりわけ応報刑論と目的刑論の内容及び発想の相違に留意しつつ、自説の妥当性を適切に論じられているのかどうかを評価した。 設問 2 は、刑法総論の基本的な問題で、不真正不作為犯の何が問題なのかを適切に指摘しそのうえで問題点につき自説の妥当性を適切に展開できているのかどうかを評価した。 設問 3 は、窃盗罪の保護法益という刑法各論の基本的問題につき、本権説と所持説の内容及び相違について正確に理解できているのかどうか、さらに自説の妥当性を論理一貫して展開できているのかどうかを評価した。 設問 4 も刑法各論の基本問題で、住居侵入罪の保護法益につき、住居権説と平穩説の内容及び相違を正確に理解できているのかどうか、さらに自説の妥当性を論理一貫して展開できているのかどうかを評価した。 出題の意図 大学院において刑法を研究するための基本的能力の有無を確認するため、刑法総論及び各論における基本的な諸問題についての理解度及び論理的思考力を問うた。	